

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成30年 8 月 9 日

【会社名】 株式会社ジャパンディスプレイ

【英訳名】 Japan Display Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長 東入来 信博

【本店の所在の場所】 東京都港区西新橋三丁目7番1号

【電話番号】 03 - 6732 - 8100(大代表)

【事務連絡者氏名】 常務執行役員 チーフフィナンシャルオフィサー 大島 隆宣

【最寄りの連絡場所】 東京都港区西新橋三丁目7番1号

【電話番号】 03 - 6732 - 8100(大代表)

【事務連絡者氏名】 常務執行役員 チーフフィナンシャルオフィサー 大島 隆宣

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生日

平成30年8月8日

(2) 当該事象の内容

1. 為替差益の計上

為替相場の変動による為替差益を営業外収益に計上いたしました。この為替差益については、売上・仕入の計上時と決済時の為替レート差から生じた他、期末日時点で当社グループの保有する外貨建て資産・負債を同日の為替レートで評価したことにより発生したものです。

2. 持分法による投資損失の計上

当社の持分法適用会社である株式会社JOLEDの決算報告に基づき、当第1四半期連結会計期間に持分法による投資損失3,071百万円を営業外費用として計上いたしました。

3. 持分変動利益

当社の持分法適用会社である株式会社JOLEDが増資したことにより、持分変動利益11,943百万円を特別利益として計上いたしました。

(3) 当該事象の損益に与える影響額

当該事象の発生により、平成31年3月期第1四半期において下記のとおり為替差益を営業外収益に計上し、持分法による投資損失を営業外費用に計上し、持分変動利益を特別利益に計上いたしました。

1. 連結決算

為替差益	2,339百万円
持分法による投資損失	3,071百万円
持分変動利益	11,943百万円

2. 個別決算

為替差益	1,944百万円
------	----------